

# 埼玉県鶴ヶ島市の総合事業について（基幹バス・乗合タクシーの実証運行）

計画事業

## 現況及び課題

- 鉄道は東武東上線・東武越生線が市境を走っており、関越道と圏央道が交差し高速道路網の要所である。鶴ヶ島駅及び若葉駅は1日約35千人が利用している。
- 市内を走る民間バス路線は、5路線。鶴ヶ島駅から川鶴団地及びいせはら団地（川越市）方面を結ぶ3路線、若葉駅から坂戸市、川島町の団地を結ぶ2路線が運行されている。
- 市役所（駅から2～3km）や医療施設などは駅直近にはないものが多く、現行のコミュニティバスは循環運行のため、目的地にまっすぐ行けない場合が多い。しかし、市民の最小限の生活交通インフラを確保しつつ10年以上にわたり一定の役割を果たしており、今後も持続可能な形態での運行が望まれている。

## 活性化の目標・方向性

- 市民の移動ニーズに合致した利便性の高い新たな公共交通事業を構築し、高齢社会に対応したきめ細かな交通移動手段を確保するとともに、公共交通事業に係る市の負担の軽減を図る。  
 目標1：現行の市内循環バスの利用者300人／日 → 1,000人／日  
 目標2：市の負担額を4,000万円／年以下に抑える

## 実施する事業の内容

- 基幹バス及び乗合タクシーの実証運行事業（平成21年～平成23年度）
  - ◆ ルート 朝夕便 基幹バス：2ルート  
 昼便 基幹バス：2ルート、乗合タクシー：6ルート
  - ◆ 本数 各ルート20～40分間隔
  - ◆ 運賃 未定
- デマンド運行システム試作・試行事業（平成21年度～平成23年度）
  - ◆ デマンド運行システムの試作
  - ◆ デマンド運行方式の試行、デマンド方式としない場合の比較
- 調査・周知広報その他（平成21年～平成23年度）
  - ◆ 待合環境の整備
  - ◆ 広報・周知
  - ◆ 利用実績等の調査
  - ◆ 予約センターの設置（デマンド方式選定の場合）

# 埼玉県鶴ヶ島市：総合事業の実施区域

